



「畑のスイカ美味しい！」
(カブトムシ)

夏休み

夏休みはいかがお過ごしでしたか。例年以上の酷暑であったため、外で遊ぶにも熱中症の危険から思う存分遊べなかった…という方も多いかと思います。

その分、ご自宅で甲子園の高校野球やスポーツのアジア大会など、夢を追いかける高校生やアスリートの姿に感動された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

また、2歳の男の子の行方不明の報道では、大人の想像を超える2歳児の生命力と、発見した78歳の方のボランティアスピリットには驚かされました。その後すぐに、復興に向け、広島県呉市天応地区に赴いた行動力には頭が下がります。

8月初旬、園長も研修で広島を訪れた際に、天応地区で被害に遭われた幼稚園に参りました。付近の川が氾濫し、園舎1階部分は土で埋まり、園バスも流され、自衛隊の方が大型の重機で教室内の土を掻き出す光景に、為す術無く呆然と立ちすくんでおりました。ところが、その教室の奥に30代の青年男性が1人スコップを持ち、汗まみれ泥まみれになりながら土を掻き出している姿がありました。その幼稚園の園長先生でした。こちらに気付くと歩み寄って深々と頭を下げられ、「9月には間に合わないかもしれないが、10月から何とか子ども達が通えるようにしたい」と仰っていました。

先月号でも触れましたが、今夏の異常気象は「異常」では無く、今後は「通常」の事となっていくのでしょうか。高温化に伴う自然災害は今後も増えていく可能性があります。日頃から備えていく必要を強く感じます。

小規模保育所の工事

現在、小規模保育所の工事を行っていますが、駐車場に工事車両の進入路ができたため、駐車スペースが狭くなっております。送迎の際は、できるだけすみやかにお帰り頂きますようご協力をお願い致します。なお、駐車場スペースがない場合は、園舎裏に駐車できます。

新園舎は、想定を超えるいかなる自然災害にも対応できるように設計をしております。更に、当初2階フロアも予定していましたが、安全性を高めるため、1階フロアのみとし、その分、より強固な山留めを行うなどの設計変更を行いました。これによって、ホール棟を含めこれまで以上に災害に強く安全性の高い園舎になります。

また、新園舎の周囲は、山や森との共生という観点から、竹林、樹林が囲み、「森のゆりかご」といった風合いの施設になります。

平成31年度改訂事項

来年度の改訂事項についてお知らせ致します。現時点で納付金等の変更はございませんが、国の制度変更により「幼児教育無償化」が平成31年10月に予定されております。ただし、本制度はまだ未確定な要素が多く、市区町村、幼稚園協会においても十分に保護者の皆様にご説明ができる状況にありません。

そこで、現時点で想定されることとして以下にお知らせ致しますので、参考にご一読下さい。今後、詳細が分かり次第、随時お知らせ致します。

制度開始時期：平成31年（2019年）10月

幼稚園における対象：3～5歳児（全園児）の全世帯。所得制限無し。

無償化の内容：現在の「保護者負担軽減補助金」が拡充されるとお考え頂くとうわかりやすいかと思えます。補助金額は月額25,700円。これは全国の私立幼稚園の保育料の平均額で、国はこの額を補助することによって「無償化」と表現しています。当然、東京都のように地価、物価等が高い地域ではこの金額では幼稚園の運営は困難ですので、各幼稚園に負担額を納付して頂く形になると思われまます。また、この制度は消費税が10%になることが前提です。

上記により、31年度の途中に保育料を含めた納付金や納付内容が改訂になる可能性ありますので、どうぞご承知置き下さい。またその他の項目につきましても国で検討されておりますが、現時点では未定ですので、決定次第お知らせ致します。

2学期スタート

楽しい夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まるうとしています。運動、自然、芸術など、様々な面で豊かな体験を与えてくれるこの2学期、子ども達1人1人が健やかに成長できるよう、教職員一同頑張っていく所存です。2学期も保護者の皆様の変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。

2学期は、、、

・生活習慣

園生活のリズムに戻るのに少し時間がかかる子いるかもしれませんが、幼稚園でも夏期保育を経て徐々に園生活のリズムに戻してまいります。ご家庭でも、食事、睡眠、着替え等、生活習慣を今一度ご確認下さい。

・運動

2学期は気候的にも、個々の発達面においても、より活動的になっていく時期です。また、慣れ親しんだ園庭での運動会へ向け、日常の屋外遊びや運動遊びがより活発に行われていきます。身体をたくさん動かし、疲れて帰ることと思えます。ご家庭では十分に休息をとるようお願い致します。

・秋の自然

園内・外の自然環境（教育資源）を存分に活かし、秋の自然を満喫したいと思います。子ども達もお父様お母様に色々なおみやげ？（ドングリやお花など）を持ち帰るかもしれません。どうぞお子様の気持ちを受け止めてあげてください。

・栽培・食育

保育室前、小川横の畑、棚田上の畑・・・様々な場所で、活動や遊びの中でより身近に野菜の生長を感じ、食へとつなげていきます。また年長は稲作の過程で稲刈り、脱穀、もみすり、精米など、様々な体験活動を行います。ご家庭でも秋の野菜や稲など、買い物や料理の際などに話題にして頂ければ幸いです。

・社会環境

勤労感謝訪問をはじめとする地域の方々とのふれあいを通して、多くの方に支えられながら生活できていることに感謝の気持ちを持てるようにしていきます。

・表現

日々の歌や楽器遊びの活動を通して、様々な音やリズムを楽しみます。歌う喜び、奏でる喜び、合わせる喜びを感じながら、保育参観での小発表に繋げていきます。造形面においては、豊かな自然の恵みをもたらす秋ならではの様々な自然物を使った造形活動が行われます。個性豊かな作品ができあがることでしょう。